

スローガン

1. 下水道による残業務の安定的継続のため、合理化事業計画の推進、転換業務の獲得
2. 下水道に接続されない浄化槽（合併）の社会的地位の確立
3. 新浄化槽維持管理システムの推進
4. 浄化槽（合併）を併用した農業集落排水処理業務事業計画の実現
5. 市町村の責務である一般廃棄物処理計画の策定推進
6. 一般廃棄物収集運搬業の責任業務の遂行



発行
福島県環境整備協同組合連合会
 住所/いわき市内郷高坂町大町138番地2
 TEL 0246-27-8818 FAX 0246-27-8813
 発行者 岡 光義
 編集責任者 嶋原北斗

保守点検・清掃技術のスキルアップ研修事業開催

モアコンパクト型 浄化槽に関する 講習会

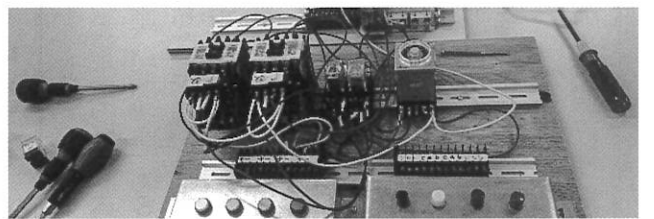
平成30年12月12日、郡山市の南東北総合卸センター中会議室において、平成30年度事業計画のひとつである「モアコンパクト型浄化槽に関する講習会」を開催した。受講者数68名。KTG型、CF型浄化槽の構造・機能、保守点検、及び清掃について、(公財)日本環境整備教育センター国家試験事業グループサブリーダーの柳田陽明先生に講義をしていただいた。

清掃について既定の内容よりも詳しく説明していただけるように、事前に質問事項を集約して教育センターへ提出し、講義の際に説明していただいた。教育センターからのアンケートに協力いただいた内容には、清掃時の注意点などをもっと詳しく聞きたかったなど、清掃業務に役立つ内容を希望する意見が多かった。

講義終了後には、受講者を代表して、県北清掃協同組合所属山川産業(株)の浅野利之氏へ柳田先生から受講証が手渡された。今後も、所属員の皆様のスキルアップや、作業時の疑問の解決に役立つような研修事業について、次年度の事業計画案の内容を協議していきたい。



ポリテクセンターを活用した 電気設備講習会

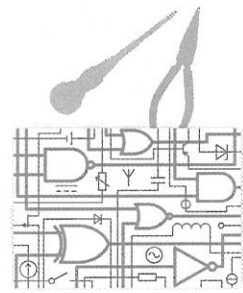


平成30年度事業計画のひとつである「ポリテクセンターを活用した電気設備講習会」を、平成30年11月30日・12月1日の2日間、ポリテクセンター福島会場において、また、平成31年2月15日・16日の2日間、ポリテクセンター会津において開催した。福島会場14名、会津会場18名の参加をいただいた。

受講後にご協力いただいたアンケートを見ると、

- ・回路図の見方がわかった
- ・現場で使える知識が身につく
- ・電気設備の理解が深まる

など、役に立つ講習会であったとの記載が多く、全体を通して今後の業務に役立てたいとの感想をいただいた。



国内情報収集活動事業 「鹿児島県視察研修会」

東日本大震災の時、県外の同業者からも多くの支援があったことを踏まえ、熊本地震の際には熊本県と同業者に対して支援を行い、翌年には現地視察に赴き、熊本県と同業者と意見交換をし、長崎では長崎県、佐賀県等の同業者とも交流した。今年度は、2月21日にホテル・クレストン鹿児島にて鹿児島県環境整備事業協同組合(以後、鹿環協)との意見交換会が開催された。鹿環協の鳥越理事長は、全国環境連の会長を長く勤め業界を牽引してきた一人である。

初めに、鹿環協の森専務理事より、平成30年度の事業計画や各委員会活動状況について説明を受けた。続いて、鹿環協鳥越澄夫理事長より「現在の業界は全国組織が分かれているが、同じ方向を向いて国に働き掛けるべきであり、統合して大きな組織になることで国も我々の意見に真剣に耳を傾けてくれる。福島県の皆さんとは所属団体が異なるが、いずれは共に活動することを希望する。今回は遠方から訪問していただき、歓迎します」と挨拶を頂いた。



その後、岡会長より東日本大震災の支援に対するお礼と、福島県の最近の事業報告(参考として広報福島環整連を配布)があり、自身が全国青年部長時代に九州連合の研修会に参加した思い出などが語られた。また、鳥越理事長が述べた全国組織の統合についても「福島県も同じ考えがあるので今回鹿児島県を訪れた。温かい歓迎に感謝します」と挨拶があり、乾杯の後、懇親会が開会となった。

懇親会の中では、浄化槽法が成立した当時の全国の業界の動きや、鹿児島県としての独自の政策等にも話が及び大変勉強になった。また、最近の事例として、伊仙町で起こった新規許可問題に触れ、一番で認められた新規許可が福岡高裁判決で取り消され、新規業者への許可を認めなかった新聞の記事など、現地で起こっている事例について紹介があった。但し、これらの裁判費用は既存業者が負担している(鹿環協で一部支援)など、新規許可問題解決の難しさも垣間見られた。



「感想」初めての訪問にもかかわらず、温かいもてなしに感激。2日目は、知覧の特攻平和祈念館にて太平洋戦争の歴史にも触れ、指宿温泉では鹿環協より差し入れまで頂きました。東北を離れ、薩摩半島最南端への旅は忘れがたい旅になりました。

出席者 岡光義、猪俣孝之、猪俣京子、柳田泰明、根本宏、小野寺仁、猪俣宏光、嶋原北斗、齋藤淳、瀬戸崇志、川田大輔
 鹿環協 鳥越理事長ほか17名

全国環整連 第44回全国大会 in 青森



平成30年10月15・16日の2日間、青森市の「ホテル青森」において全国環整連第44回全国大会が開催された。本会からは43名が参加。

第44回全国大会は、福井県小浜市、佐賀県伊万里市の最高裁判決内容を読み取り、一般廃棄物の処理責任と適正処理の義務を果たすべく、「一般廃棄物処理計画」の重要性和「処理責任担当区域」の必要性を中心に議論して、業界のあるべき姿、その役割を確認し、地域の環境保全に貢献することを目的に開催された。

1日目は大会式典、講演を開催し、式典において優良従業員・

元副会長 長沼義雄氏 旭日単光章受章



この栄誉に際して長沼氏は、「図らずとも私ごときが受章いたしましたことは身に余る光栄であり勲章を装着し夫婦共々宮中春秋の間において平成年号最後の天皇陛下の拜謁の栄を賜りましたことは生涯忘れられない慶びであります」と話されています。

平成31年3月10日、いわき市の「パレスいわき」において叙勲祝賀会が盛大に開催されました。祝賀会は、発起人代表を岡光義会長とし、関係団体から多くの方々が臨席いたしました。

従業員表彰をおこなった。福島県から優良従業員として3名が表彰を受けた。

2日目は、各委員会・青年部の方針が発表され、本会議では政府に対する要望決議、大会スローガン・大会宣言等が行われた。

次回開催予定地は東京都。

**優良従業員
勤続20年の部**

- 富所 一 勿来清興(株)
 - 榎田 純一 勿来清興(株)
 - 生田 仁 いわき市環境整備事業協業組合
- (敬称略)

日本水処理生物学会第55回大会協賛

福島県の酒 PRブース出展

平成30年11月2・3日の両日、日本大学工学部キャンパス50周年記念館において「日本水処理生物学会第55回大会」が開催された。(公社)福島県浄化槽協会の副会長であり、本会開催の講演会等でお世話になっている日本大学工学部の中野和典教授が大会会長を務めた。

学会が郡山キャンパスで開催されることをうけ、本会は学会終了後に開催された懇親会場に、福島県の良い水で作られた酒のPRブースを出展し、岡会長から本会の活動や事業内容を紹介した。

また、福島県出身でミス日本酒準グランプリの堀井雅代さんに県産酒のPRをしていただき会場に華を添えた。堀井さんは、金賞を受賞した酒の解説に加え、県産酒のPRを通して福島県の復興の役に立ちたいと今後の抱負を語った。

堀井雅代さん

「事業承継セミナー」青年部主催講習会

福島県環整連青年部は、平成30年11月16日に、会津アピオスペース2階会議室において事業承継セミナーを開催した。講師に、渡辺リスクマネジメント事務所の渡辺敏一氏、本会所属員であり全国環整連委員会に出向している、松宮(株)代表取締役松宮秀泰氏を招へいし、2部構成で行った。

第1部では、事業承継に向けた準備の必要性の認識や、経営状況・経営課題等の把握、それらを踏まえての事業承継に向けた経営改善などをお話いただいた。

事業承継を進めるにあたっての順序、事業承継の構成要素が「人、資産、知的資産」の3つに分かれるなど、細かく説明いただいた知識を深めることができた。事業承継という、資産をどのような方法で受け継ぐかというところが非常に目がいってしまいがちだが、本当に実施しなければならぬのは、知的資産と呼ばれる先代の「経営理念」であったり、「信用」であったり、「どのような方法でどうするか」を受け継ぐことであると学ぶことができた。

「事業承継セミナー」青年部主催講習会

これから事業承継を進められる方々には、先ず現在の代表者と後継者が一緒に講習会へ参加されることをお勧めする。

第2部では、地域の中小企業の立場として自分たちがどのように進むべきかを考えさせられた。人口減少が加速し、市町村の汚水処理計画が見直され合理化が進んでいくと、私たちの業務はどうなっていくのかなど、今後訪れるであろう困難にどのように対応すべきかを、後継者となる参加者と共に考える有意義な時間となった。

最後に、講習会の開催にあたりご協力いただいた福島県中小企業団体中央会の方々に感謝申し上げます。

(文 青年部長 齋藤 淳)

- *今後の予定***
- 4・16 第一回三役会議・平成30年度会計監査(郡山市)
 - 4・23 第一回理事会(南東北総合センター)
 - 4・24 全国清掃事業連合会第10回定時社員総会(如水会館)
 - 5・23 全国環整連第47回通常総会(如水会館)
 - 5・24 福島県環整連平成31年度通常総会(天江青葉東山ランドホテル)
 - 6・12 福島県中小企業団体中央会通常総会(ホテル福島グリーンパレス)
 - 6・14 福島県浄化槽協会通常総会(ウエディングエルティ)

猪俣副会長「優勝」

平成30年11月10日、埴町において、県浄化槽協会の研修会が開催され、翌11日、棚倉町の棚倉田舎倶楽部において、福島県環整連と県浄化槽協会共催によるゴルフコンペを開催した。岡会長他15名が参加。坂下清掃(有)猪俣孝之氏が優勝。

